

令和 7 年度

奈良市立看護専門学校

一般・社会人入学試験（専願 A）問題

現代の国語・言語文化

試験時間 50 分（問題 1～17）

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで問題を開いてはいけません。
2. 机の上には、受験票、筆記用具以外のものを出してはいけません。
3. 係員の指示に従って、**下欄及び解答用紙に受験番号と氏名を記入**し、解答用紙の受験番号欄をマークしてください。
4. 解答方法：選択肢（1～5）から**正解を一つ選び**、解答用紙の解答欄の該当番号をマークしてください。二つ以上マークした場合には誤りとなります。
5. マークは解答用紙の「マークの方法」の「良い例」のように濃く、はっきりと塗りつぶしてください。「悪い例」では採点されない場合があります。
6. 試験中に問題の印刷不鮮明等に気付いた場合は、手を挙げて係員に知らせてください。なお、問題の内容に関する質問にはお答えできません。
7. 問題の余白はメモ等に使用して構いません。
8. この問題冊子は回収します。持ち帰らないでください。

受験番号

--	--	--

氏 名

--

第1問 次の文章を読んで、後の各問いに答えよ。

私はあるいは人から沢山の書物を読むとでも思われているかも知れない。私はたしかに書物が好きである。それは子供の時からの性癖であったように思う。ごく小さい頃、さびしくて恐いのだが、独りで土蔵の二階に上って、昔祖父が読んだという四箱か五箱ばかりの漢文の書物を見るのが好きであった。無論それが分かつては^{いかめ}ずはない。ただ大きな^い厳^いしい字の書物を開いて見て、その中に何だかえらいことが書いてあるように思われたのであった。それで私の読書というのはのぞいて見るということかも知れない。㉑

それでも若い時には感激をもって読んだ本もあった。二十少し過ぎの頃、はじめてショーペンハウエルを読んで非常に動かされた。面白い本だと思った。しかし年を経るに従い、そういう本はなくなった。ニル・アドミラリ^(注1)というような気分になってしまった。私にはある人の書物を丹念に読み、その人の考えを丹念に研究しようという考えが薄い。㉒

しかし偉大な思想家の思想というものは、自分の考えが進むに従って異なって現れて来る。そして新たに教えられるのである。例えば、古代のプラトンとか近代のヘーゲルとかいうごとき人々はそう思う。私はヘーゲルをはじめて読んだのは二十頃であろう、しかし今日でもヘーゲルは私の(ア)。はじめてアリストテレスの『形而上学』を読んだのは、三十過ぎの時であったかと思う。最初ボンス・ライブラリの訳と次に古いフィロゾフィッシュ・ビブリオテークのロルフエスの訳で読んだ。それはとても分らぬものであった。しかるに五十近くになって、にわかにアリストテレスが自分に生きて来たように思われ、アリストテレスから多大の影響を受けた。私は思う、(イ) 書物を読むということは、自分の思想がそこまで行かねばならない。一脈相通ずるに至れば、暗夜に火を打つがごとく、一時に全体が明らかとなる。偉大な思想家の思想が自分のものとなる、そこにそれを理解したといい得るようである。私はしばしば若い人々にいうのであるが、偉大な思想家の書を読むには、その人の骨というようなものをつかまねばならない。そして多少とも自分がそれを使用し得るようにならなければならない。偉大な思想家には必ず骨というようなものがある。大なる彫刻家に^{のみ}鑿^{のみ}の骨、大なる画家には筆の骨があると同様である。骨のないような思想家の書は読むに足らない。顔真卿^(注2)の書を学ぶといっても、字を形を真似するのではない。ごく最近でも、私はライプニッツの中に含まれていた大切なものを理解していなかったように思う。何十年前に一度ライプニッツを受用し得たと思っていたにもかかわらず。㉓

例えば、アリストテレスならアリストテレスに、物の見方考え方というものがある。そして彼自身の刀の使い方というものがある。それを多少とも手に入れば、そうどこまでも詳しく読まなくとも、こういう問題は彼からはかくも考えるであろうというごときことが予想せられるようになると思う。私は大体そういうような所を見当にしている。(ウ) それで私は全集というものをもっていない。カントやヘーゲルの全集というものももたない。無論私はそれで満足というのでもなく、また決してそういう方法を人に勧めもしない。そういう読み方は真にその思想家の骨髓に達することができればよいが、しからざれば(エ)に陥るを免れない。読書はどこまでも言語のさきざきまでも正確に綿密でなければならない。それはいうまでもなく万人ののつとるべき読書法に違いない。それかといってあまりにそういう方向にのみ走って、いたずらに字句によって解釈し、その根底に動いている生きものをつかまないと^{ふせん}いうのも、膚浅^(注3)な読書法といわなければならない。精密な^{そほん}ようで粗笨^(注4)ということもできるであろう。㉔

何人もいうことであり、いうまでもないことと思うが、私は一時代を画したような偉大な思想家、大きな思想の流れの^{えんげん}淵源^(注5)となったような人の書いたものを読むべきだと思う。かかる思

思想家の思想がつかまるれば、その流派というようなものは、あたかも蔓^{つる}をたぐるように理解せられて行くのである。無論困難な思想家には多少の手引というものを要するが、単に概論的なものや末書的なものばかり多く読むのはよくないと思う。人は往々何々の本はむつかしいという。ただむつかしいのみで、無内容なものならば、読む必要もないが、自分の思想が及ばないのでむつかしいのなら、どこまでもぶつかって行くべきでないか。しかし (オ) 偉大の思想の淵源となった人の書を読むといっても、例えばプラトンさえ読めばそれでよいというとき考えには同意することはできない。ただ一つの思想を知るということは、思想というものを知らないというに等しい。特にそういう思想がどういう歴史的地盤において生じ、いかなる意義を有するかを知り置く必要があると思う。まして今日のごとく、在来の思想が行き詰まったかに考えられ、我々が何か新たに踏み出さねばならぬと思う時代にはなおさらと思うのである。いかに偉大な思想家でも、一派の考えが定まるということは、色々の可能の中の一つに定まることである。それが行き詰まった時、それを越えることは、(カ) この方に進むことによってでなく、元に戻って考えて見ることによらなければならない。いかにしてこういう方向に來たかということ。㉔

(西田幾多郎「読書」一部改変)

(注) 1 ニル・アドミラリ：何事にも驚かないこと 2 顔真卿：中国・唐代の政治家、書家

3 膚浅：浅はか 4 粗笨：粗雑 5 淵源：根源

問題 1 次の文は本文の一部である。最も適当な挿入場所はどこか。文中の㉔～㉔のうちから一つ選択せよ。

そういう意味では、かなり多くの書物を覗いて見た、また今でも覗くといってよいかも知れない。本当に読んだという書物はごくわずかなものであろう。

1 ㉔ 2 ㉔ 3 ㉔ 4 ㉔ 5 ㉔

問題 2 空所 (ア) に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 目の敵^{かたき}なのである 2 座右にあるのである 3 思い出の書なのである
4 竹馬の友なのである 5 悩みの種なのである

問題 3 下線部 (イ)「書物を読むということは、自分の思想がそこまで行かねばならない」とあるが、どういうことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 思想家の書物を読むときは、自分の年齢にふさわしい難しさのものを選ぶべきだということ。
2 多数の偉大な思想家の書を理解するには長い訓練が必要であり、時間の無駄も多いということ。
3 偉大な本の思想には影響されやすいため、先に自分自身の考えをまとめなければならないということ。
4 あらゆる書物は読み終えたときにはじめて全体の思想がわかるようにできているということ。
5 偉大な思想家の著作の本質は、読者自身の考えを深め続けることではじめて習得できるということ。

問題4 下線部(ウ)「それで私は全集というものをもっていない」とあるが、なぜもっていないのか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 特定の思想家の書物を丹念に読むことで自分がその思想に完全に影響されてしまうことを防ぐ必要があるから。
- 2 全集を綿密に読むのではなく、多様な書物を覗くだけのほうが、長期間飽きずに思想の学習を続けられるから。
- 3 思想家の考え方の根本的な原理さえ把握できれば、その人物の著作を精読しなくても個別の問題への意見を予想できるから。
- 4 全集をもっていると、誰でも書物の表面的な言葉づかいにばかり気を取られて本質的な内容を理解することができなくなるから。
- 5 思想家の一部の書物だけを読んで全集の残りの内容を予想することが、自分独自の考え方を習得する訓練になるから。

問題5 空所(エ)に当てはまる語句として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 悪意に満ちた歪曲わいきよく
- 2 情報過多による選択の困難
- 3 画一的だが冷静な判断
- 4 主観的な独断的な解釈
- 5 まったく画期的な印象論

問題6 下線部(オ)「偉大の思想の淵源となった人の書を読むといっても、例えばプラトンさえ読めばそれでよいというごとき考えには同意することはできない」とあるが、それはなぜか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 プラトンのようなあまりに古い思想家の書は、変化の激しい現代社会には応用できないと考えられるから。
- 2 非常に多くの流派を生んだプラトンのような思想家の場合、その書物を読んだだけでは後の時代の経緯が把握できないから。
- 3 偉大な思想の淵源となった書物はしばしば難解であり、必ずわかりやすい解説書から読み始めなければならないから。
- 4 従来の思想が行き詰まった現代では、発展の可能性のない思想を捨てて役立つものだけを選び出さなければならないから。
- 5 特定の思想は、ほかの思想と比較されたり、その歴史的な経緯や意義を踏まえたりして、客観的に見られる必要があるから。

問題7 下線部(カ)「この方に進むことによってでなく、元に戻って考えて見ることによらなければならない」とあるが、どういうことか。最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 偉大な淵源から現在にいたる思想の流派を思想家がくり返したどり直すことで、新しい発想が生まれてくるということ。
- 2 思想の流れの停滞に対処するには、現在の方向のまま進まずに原点となった偉大な思想に立ち返る必要があるということ。

- 3 同じ偉大な思想の元から生まれた様々な流派が互いに論争を続けることで、ただ一つの進むべき方向が決まるということ。
- 4 新しい流派をつくり出すためには、淵源となった偉大な思想家の考え方を徹底的に否定しなければならないということ。
- 5 思想を学ぶ者は、現代社会と思想の混乱の原因を歴史から解き明かさなければならないということ。

問題 8 本文の内容と合致する記述として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 アリストテレスやライプニッツのような偉大な思想家の思想の本質に到達するには、数十年を要することがある。
- 2 若いころの筆者が最も影響を受けた思想家はヘーゲルではなくショーペンハウエルである。
- 3 筆者は幼いころから集中力がなかったため、書物を丹念に読むのではなく覗き見る方法で思想を学んだ。
- 4 どんな書物でも、自分にとって難しいと感じられるものは必ず有意義な内容を含んでいるので、読んでみるべきである。
- 5 思想を学ぶ者は、思想の本質をつかむ能力を習得して、書物の全集をもたないことを目標にしなければならない。

第 2 問 次の各問いに答えよ。

問題 9 下線部に示す漢字の読み方が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 グラウンドに芝生（しば）を張る。
2 赤ちゃんの動きを真似（まに）する。
3 注意する気配（けはい）がない。
4 俗世を解脱（かいだつ）する。
5 万物はつねに流転（りゅうてん）する。
- (2) 1 彼女は虚偽（きょい）の証言をした。
2 野良（のりょう）犬を保護する。
3 工事が予定通り進捗（しんしょう）する。
4 市井（しせい）の人の声に耳を傾ける。
5 問題の意図（いず）を読み取る。
- (3) 1 努力が水泡（すいほう）に帰す。
2 逃げ惑（まよ）う人の声が響き渡る。
3 庭には池と築山（ちくやま）がある。
4 試験に向けて準備は万端（まんたん）だ。
5 過失を看過（かんこ）してはならない。

問題 10 下線部の漢字が正しいものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 1 土実 (じゅうじつ) した毎日を過ごす。
2 友人は乾布摩擦 (まさつ) に精を出す。
3 業界の官行 (かんこう) に従う。
4 永遠の友情を追及 (ついきゅう) する。
5 彼女の名声 (めいせい) はより一層高まった。
- (2) 1 順環 (じゅんかん) 型社会の実現を目指す。
2 春の人事異動 (いどう) が発表される。
3 構外 (こうがい) からバスと電車で通学する。
4 規則の変更を衆知 (しゅうち) する。
5 極地 (きょくち) 的な大雨が降り続く。
- (3) 1 有名人の講演 (こうえん) 会に出席する。
2 中象 (ちゅうしょう) 的な言い回しを避ける。
3 公共の福祉 (ふくし) の考え方を学ぶ。
4 総意 (そうい) 工夫で地元に貢献する。
5 本戦への出場を棄権 (きけん) する。
- (4) 1 少年時代を介顧 (かいこ) する。
2 仮空 (かくう) の口座を開設する。
3 祖母の最後 (さいご) を看取る。
4 精彩 (せいさい) を欠く演奏が目立つ。
5 彼の作文は稚切 (ちせつ) 極まりない。

問題 11 次の下線部と同じ漢字を使うものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

- (1) 伝統文化を継シヨウする。
1 大阪はシヨウ人の町と呼ばれる。
2 無実をシヨウ明する。
3 無理をシヨウ知で依頼する。
4 最終シヨウまで目が離せない。
5 文明発シヨウの地を旅行する。
- (2) 出口のフ近が混雑する。
1 子どものフ養手当をもらう。
2 フ属品の有無を確認する。
3 恩師のフ報に接する。
4 フ傷者の看病を行う。
5 楽フを読む勉強をする。

(3) 妻が遺産をソウ続する。

- 1 ソウ業十周年の催しを開く。
- 2 美しいソウ原を未来に残す。
- 3 運動会は徒競ソウに参加する。
- 4 荷物の発ソウの締め切りは明日だ。
- 5 進路についてソウ談する。

問題 12 次のうち「苦心」の同意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 腐心
- 2 慢心
- 3 好奇心
- 4 核心
- 5 平常心

問題 13 次のうち「流行」の反意語として最も適当なものを一つ選択せよ。

- 1 交易
- 2 変化
- 3 不易
- 4 特殊
- 5 貿易

問題 14 次の語句の意味として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) インスピレーション

- 1 建物・住戸を大がかりに改修すること。
- 2 世間の耳目を集め、興奮させること。
- 3 物事の中核となる考えのこと。
- 4 天啓を得たように突然ひらめく考えのこと。
- 5 古いものが見直されて再流行すること。

(2) 水を差す

- 1 努力して積み上げてきたものが、すべて無駄になってしまうこと。
- 2 はたから邪魔をして、うまくいっている状態を不調にすること。
- 3 出し抜けに起こった出来事に驚くこと。
- 4 今までのいざこざなどを、なかったことにすること。
- 5 その場にいる大勢の人が、一斉に静まり返るようすのこと。

(3) 目処が立つ

- 1 大まかな見当が付くこと。
- 2 人との関係などが、円満に行かなくなること。
- 3 数多くいる人の中から、特に選び出されること。
- 4 文章を書くのがうまいこと。
- 5 もめ事が起こること。

(4) 千客万来

- 1 ひどくばかばかしくて、話にならないこと。
- 2 いろいろなものそれぞれには、さまざまな相違や差異があること。
- 3 さまざまに移り変わって、目くるめく変化をし続けていること。
- 4 人生の浮き沈みがきわめて激しく、劇的であること。
- 5 大勢の客がひっきりなしにつめかけること。

(5) 厚顔無恥

- 1 恐怖やけがなどのために、顔色が青ざめて見えること。
- 2 他人の迷惑など考えずに自分勝手に行動すること。
- 3 本気でなく、ふざけて言ったり行ったりすること。
- 4 どうにもしようがなく、ほとんど困り果てること。
- 5 まわりすべてが、敵や反対者で、孤立した状態のこと。

問題 15 次の意味を表す言葉として最も適当なものをそれぞれ一つずつ選択せよ。

(1) 証拠。特に、治療法の効果などについての根拠のこと。

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 イノセンス | 2 オアシス | 3 エビデンス |
| 4 フリーランス | 5 バイオレンス | |

(2) 感心して驚いたり、また、感動したりして目を大きく見開くこと。

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1 一目置く | 2 目が覚める | 3 長い目で見える |
| 4 目を見張る | 5 目がくらむ | |

(3) その場のなりゆきに応じて、適切な手段をとること。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1 臨機応変 | 2 天変地異 | 3 形勢一変 |
| 4 千変万化 | 5 突然変異 | |

問題 16 下線部の言葉の使い方が正しいものを一つ選択せよ。

- 1 奇を狙った服装で、周囲の注目を集める。
- 2 友人の話に笑顔を見せながら、相づちを打つ。
- 3 悲願の目標を達成して、心をなで下ろす。
- 4 会場内は興奮冷めやまぬ状態が続いている。
- 5 オリンピックに照準を当てて調整を行う。

問題 17 次の記述に当てはまる人物として正しいものを一つ選択せよ。

詩人としては、欧米遊学の後、自由な生き方を許さない社会に苦しんだが、智恵子との出会いを契機に自己完成をめざす理想主義詩人として本領を発揮する。この時期の作品を集めたのが、『道程』である。また、妻との生活をうたった詩集『智恵子抄』がある。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1 萩原朔太郎 | 2 上田敏 | 3 室生犀星 |
| 4 島崎藤村 | 5 高村光太郎 | |

以 上